

No.	頁	該当箇所 (誤)	該当箇所 (正)																																								
1	31P	<p>4) コスト削減効果の評価</p> <p>包括管理事業導入によるコスト削減効果は、変動があると想定される。その中で、「府中市インフラマネジメント計画」において、包括管理事業の実施による経費削減の比率は、10%程度を目安としている。現行包括管理事業のコスト削減効果が約6.4%であることについて、次の理由が考えられる。</p>	<p>4) コスト削減効果の評価</p> <p>包括管理事業導入によるコスト削減効果は、変動があると想定される。その中で、「府中市インフラマネジメント計画」において、包括管理事業の実施による経費削減の比率は、10%程度を目安としている。現行包括管理事業のコスト削減効果が約7.4%であることについて、次の理由が考えられる。</p>																																								
2	41P	<p>表 2-31 アウトカム指標による現行包括管理事業の評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>最終アウトカム</th> <th>中間アウトカム</th> <th>中間アウトカム指標</th> <th>H26 結果</th> <th>評価基準 (暫定)</th> <th>基準値設定の考え方等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>効率的な維持管理</td> <td>維持管理にかかわる財政負担の軽減</td> <td>維持管理にかかる財政負担額</td> <td>7.7%</td> <td>10%</td> <td>現行包括管理事業開始前と開始後のコスト削減効果を目安とする。</td> </tr> </tbody> </table>	最終アウトカム	中間アウトカム	中間アウトカム指標	H26 結果	評価基準 (暫定)	基準値設定の考え方等	効率的な維持管理	維持管理にかかわる財政負担の軽減	維持管理にかかる財政負担額	7.7%	10%	現行包括管理事業開始前と開始後のコスト削減効果を目安とする。	<p>表 2-31 アウトカム指標による現行包括管理事業の評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>最終アウトカム</th> <th>中間アウトカム</th> <th>中間アウトカム指標</th> <th>H26 結果</th> <th>評価基準 (暫定)</th> <th>基準値設定の考え方等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>効率的な維持管理</td> <td>維持管理にかかわる財政負担の軽減</td> <td>維持管理にかかる財政負担額</td> <td>7.4%</td> <td>10%</td> <td>現行包括管理事業開始前と開始後のコスト削減効果を目安とする。</td> </tr> </tbody> </table>	最終アウトカム	中間アウトカム	中間アウトカム指標	H26 結果	評価基準 (暫定)	基準値設定の考え方等	効率的な維持管理	維持管理にかかわる財政負担の軽減	維持管理にかかる財政負担額	7.4%	10%	現行包括管理事業開始前と開始後のコスト削減効果を目安とする。																
最終アウトカム	中間アウトカム	中間アウトカム指標	H26 結果	評価基準 (暫定)	基準値設定の考え方等																																						
効率的な維持管理	維持管理にかかわる財政負担の軽減	維持管理にかかる財政負担額	7.7%	10%	現行包括管理事業開始前と開始後のコスト削減効果を目安とする。																																						
最終アウトカム	中間アウトカム	中間アウトカム指標	H26 結果	評価基準 (暫定)	基準値設定の考え方等																																						
効率的な維持管理	維持管理にかかわる財政負担の軽減	維持管理にかかる財政負担額	7.4%	10%	現行包括管理事業開始前と開始後のコスト削減効果を目安とする。																																						
3	42P	<p>表 2-32 中間評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価の視点</th> <th>評価内容</th> <th>評価</th> <th>改善点・改善方針</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">1. 業務実施内容の妥当性</td> <td>作業項目</td> <td>事業者が実施した作業項目と、予め市が提示した要求水準書に示す項目・内容に大幅な乖離は見られず、概ね、妥当であると判断する。</td> <td rowspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> ● 【対象作業】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 必要な作業項目・内容を業務要求水準書に追記 ➢ 予防保全や事業者の採算性を考慮し、対象作業を増やす ● 【要求水準】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事業者のノウハウが発揮しづらい作業は除く ● 【発注方法】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 市が意図する要求水準が伝わるよう、業務要求水準書を見直す ● 【発注方法】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 技術点と価格点を評価する発注方法とする ● 【契約内容】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 必要な条件や想定されるリスクを契約書に追記 ● 【契約期間】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事業者自ら検討・検証を実施、改善を図り、性能発注の特性を発揮できるよう、契約期間を拡大 ● 【事業全体の枠組み】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事業者の自由度を高めて性能発注の特性を活かすため、業務内容の拡大や見直しを実施 ● 【広報等】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 包括管理事業を、もっと市民に知ってもらう取組みの実施を検討 </td> </tr> <tr> <td>作業量</td> <td>定型的な業務（日常の清掃等）は、作業量は概ね妥当であるが、災害対応等の非定型的な業務については、改善する必要がある。</td> </tr> <tr> <td>2. 契約内容・事業スキームの妥当性</td> <td>関係者ヒアリング結果: 契約内容・役割分担</td> <td>事業に支障をきたす大きな問題はないが、事業実施期間中の構成員の変更や提案書の取扱い等、改善したほうがよいと判断される懸念事項がある。</td> <td rowspan="4"> <ul style="list-style-type: none"> ● 【対象作業】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 必要な作業項目・内容を業務要求水準書に追記 ➢ 予防保全や事業者の採算性を考慮し、対象作業を増やす ● 【要求水準】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事業者のノウハウが発揮しづらい作業は除く ● 【発注方法】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 市が意図する要求水準が伝わるよう、業務要求水準書を見直す ● 【発注方法】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 技術点と価格点を評価する発注方法とする ● 【契約内容】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 必要な条件や想定されるリスクを契約書に追記 ● 【契約期間】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事業者自ら検討・検証を実施、改善を図り、性能発注の特性を発揮できるよう、契約期間を拡大 ● 【事業全体の枠組み】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事業者の自由度を高めて性能発注の特性を活かすため、業務内容の拡大や見直しを実施 ● 【広報等】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 包括管理事業を、もっと市民に知ってもらう取組みの実施を検討 </td> </tr> <tr> <td>3. コスト削減効果</td> <td>H24 の維持管理費、包括管理事業額</td> <td>【(H24 維持管理費) - (包括管理事業額) / (H24 維持管理費) = 約 6.4%】「府中市インフラマネジメント計画」では約 10%程度と想定。</td> </tr> <tr> <td>4. 利用者の評価</td> <td>地域住民ヒアリング</td> <td>地域住民の評価は、概ね好評であり、包括管理事業の実施は肯定されたと判断できる。・現行包括管理事業の活動：約 6 割が美化を実感・包括管理事業への評価：半数が肯定。事業拡大の意見もあり</td> </tr> </tbody> </table>	評価の視点	評価内容	評価	改善点・改善方針	1. 業務実施内容の妥当性	作業項目	事業者が実施した作業項目と、予め市が提示した要求水準書に示す項目・内容に大幅な乖離は見られず、概ね、妥当であると判断する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 【対象作業】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 必要な作業項目・内容を業務要求水準書に追記 ➢ 予防保全や事業者の採算性を考慮し、対象作業を増やす ● 【要求水準】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事業者のノウハウが発揮しづらい作業は除く ● 【発注方法】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 市が意図する要求水準が伝わるよう、業務要求水準書を見直す ● 【発注方法】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 技術点と価格点を評価する発注方法とする ● 【契約内容】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 必要な条件や想定されるリスクを契約書に追記 ● 【契約期間】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事業者自ら検討・検証を実施、改善を図り、性能発注の特性を発揮できるよう、契約期間を拡大 ● 【事業全体の枠組み】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事業者の自由度を高めて性能発注の特性を活かすため、業務内容の拡大や見直しを実施 ● 【広報等】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 包括管理事業を、もっと市民に知ってもらう取組みの実施を検討 	作業量	定型的な業務（日常の清掃等）は、作業量は概ね妥当であるが、災害対応等の非定型的な業務については、改善する必要がある。	2. 契約内容・事業スキームの妥当性	関係者ヒアリング結果: 契約内容・役割分担	事業に支障をきたす大きな問題はないが、事業実施期間中の構成員の変更や提案書の取扱い等、改善したほうがよいと判断される懸念事項がある。	<ul style="list-style-type: none"> ● 【対象作業】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 必要な作業項目・内容を業務要求水準書に追記 ➢ 予防保全や事業者の採算性を考慮し、対象作業を増やす ● 【要求水準】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事業者のノウハウが発揮しづらい作業は除く ● 【発注方法】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 市が意図する要求水準が伝わるよう、業務要求水準書を見直す ● 【発注方法】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 技術点と価格点を評価する発注方法とする ● 【契約内容】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 必要な条件や想定されるリスクを契約書に追記 ● 【契約期間】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事業者自ら検討・検証を実施、改善を図り、性能発注の特性を発揮できるよう、契約期間を拡大 ● 【事業全体の枠組み】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事業者の自由度を高めて性能発注の特性を活かすため、業務内容の拡大や見直しを実施 ● 【広報等】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 包括管理事業を、もっと市民に知ってもらう取組みの実施を検討 	3. コスト削減効果	H24 の維持管理費、包括管理事業額	【(H24 維持管理費) - (包括管理事業額) / (H24 維持管理費) = 約 6.4%】「府中市インフラマネジメント計画」では約 10%程度と想定。	4. 利用者の評価	地域住民ヒアリング	地域住民の評価は、概ね好評であり、包括管理事業の実施は肯定されたと判断できる。・現行包括管理事業の活動：約 6 割が美化を実感・包括管理事業への評価：半数が肯定。事業拡大の意見もあり	<p>表 2-32 中間評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価の視点</th> <th>評価内容</th> <th>評価</th> <th>改善点・改善方針</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">1. 業務実施内容の妥当性</td> <td>作業項目</td> <td>事業者が実施した作業項目と、予め市が提示した要求水準書に示す項目・内容に大幅な乖離は見られず、概ね、妥当であると判断する。</td> <td rowspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> ● 【対象作業】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 必要な作業項目・内容を業務要求水準書に追記 ➢ 予防保全や事業者の採算性を考慮し、対象作業を増やす ● 【要求水準】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事業者のノウハウが発揮しづらい作業は除く ● 【発注方法】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 市が意図する要求水準が伝わるよう、業務要求水準書を見直す ● 【発注方法】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 技術点と価格点を評価する発注方法とする ● 【契約内容】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 必要な条件や想定されるリスクを契約書に追記 ● 【契約期間】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事業者自ら検討・検証を実施、改善を図り、性能発注の特性を発揮できるよう、契約期間を拡大 ● 【事業全体の枠組み】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事業者の自由度を高めて性能発注の特性を活かすため、業務内容の拡大や見直しを実施 ● 【広報等】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 包括管理事業を、もっと市民に知ってもらう取組みの実施を検討 </td> </tr> <tr> <td>作業量</td> <td>定型的な業務（日常の清掃等）は、作業量は概ね妥当であるが、災害対応等の非定型的な業務については、改善する必要がある。</td> </tr> <tr> <td>2. 契約内容・事業スキームの妥当性</td> <td>関係者ヒアリング結果: 契約内容・役割分担</td> <td>事業に支障をきたす大きな問題はないが、事業実施期間中の構成員の変更や提案書の取扱い等、改善したほうがよいと判断される懸念事項がある。</td> <td rowspan="4"> <ul style="list-style-type: none"> ● 【対象作業】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 必要な作業項目・内容を業務要求水準書に追記 ➢ 予防保全や事業者の採算性を考慮し、対象作業を増やす ● 【要求水準】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事業者のノウハウが発揮しづらい作業は除く ● 【発注方法】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 市が意図する要求水準が伝わるよう、業務要求水準書を見直す ● 【発注方法】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 技術点と価格点を評価する発注方法とする ● 【契約内容】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 必要な条件や想定されるリスクを契約書に追記 ● 【契約期間】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事業者自ら検討・検証を実施、改善を図り、性能発注の特性を発揮できるよう、契約期間を拡大 ● 【事業全体の枠組み】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事業者の自由度を高めて性能発注の特性を活かすため、業務内容の拡大や見直しを実施 ● 【広報等】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 包括管理事業を、もっと市民に知ってもらう取組みの実施を検討 </td> </tr> <tr> <td>3. コスト削減効果</td> <td>H24 の維持管理費、包括管理事業額</td> <td>【(H24 維持管理費) - (包括管理事業額) / (H24 維持管理費) = 約 7.4%】「府中市インフラマネジメント計画」では約 10%程度と想定。</td> </tr> <tr> <td>4. 利用者の評価</td> <td>地域住民ヒアリング</td> <td>地域住民の評価は、概ね好評であり、包括管理事業の実施は肯定されたと判断できる。・現行包括管理事業の活動：約 6 割が美化を実感・包括管理事業への評価：半数が肯定。事業拡大の意見もあり</td> </tr> </tbody> </table>	評価の視点	評価内容	評価	改善点・改善方針	1. 業務実施内容の妥当性	作業項目	事業者が実施した作業項目と、予め市が提示した要求水準書に示す項目・内容に大幅な乖離は見られず、概ね、妥当であると判断する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 【対象作業】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 必要な作業項目・内容を業務要求水準書に追記 ➢ 予防保全や事業者の採算性を考慮し、対象作業を増やす ● 【要求水準】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事業者のノウハウが発揮しづらい作業は除く ● 【発注方法】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 市が意図する要求水準が伝わるよう、業務要求水準書を見直す ● 【発注方法】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 技術点と価格点を評価する発注方法とする ● 【契約内容】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 必要な条件や想定されるリスクを契約書に追記 ● 【契約期間】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事業者自ら検討・検証を実施、改善を図り、性能発注の特性を発揮できるよう、契約期間を拡大 ● 【事業全体の枠組み】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事業者の自由度を高めて性能発注の特性を活かすため、業務内容の拡大や見直しを実施 ● 【広報等】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 包括管理事業を、もっと市民に知ってもらう取組みの実施を検討 	作業量	定型的な業務（日常の清掃等）は、作業量は概ね妥当であるが、災害対応等の非定型的な業務については、改善する必要がある。	2. 契約内容・事業スキームの妥当性	関係者ヒアリング結果: 契約内容・役割分担	事業に支障をきたす大きな問題はないが、事業実施期間中の構成員の変更や提案書の取扱い等、改善したほうがよいと判断される懸念事項がある。	<ul style="list-style-type: none"> ● 【対象作業】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 必要な作業項目・内容を業務要求水準書に追記 ➢ 予防保全や事業者の採算性を考慮し、対象作業を増やす ● 【要求水準】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事業者のノウハウが発揮しづらい作業は除く ● 【発注方法】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 市が意図する要求水準が伝わるよう、業務要求水準書を見直す ● 【発注方法】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 技術点と価格点を評価する発注方法とする ● 【契約内容】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 必要な条件や想定されるリスクを契約書に追記 ● 【契約期間】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事業者自ら検討・検証を実施、改善を図り、性能発注の特性を発揮できるよう、契約期間を拡大 ● 【事業全体の枠組み】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事業者の自由度を高めて性能発注の特性を活かすため、業務内容の拡大や見直しを実施 ● 【広報等】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 包括管理事業を、もっと市民に知ってもらう取組みの実施を検討 	3. コスト削減効果	H24 の維持管理費、包括管理事業額	【(H24 維持管理費) - (包括管理事業額) / (H24 維持管理費) = 約 7.4%】「府中市インフラマネジメント計画」では約 10%程度と想定。	4. 利用者の評価	地域住民ヒアリング	地域住民の評価は、概ね好評であり、包括管理事業の実施は肯定されたと判断できる。・現行包括管理事業の活動：約 6 割が美化を実感・包括管理事業への評価：半数が肯定。事業拡大の意見もあり
評価の視点	評価内容	評価	改善点・改善方針																																								
1. 業務実施内容の妥当性	作業項目	事業者が実施した作業項目と、予め市が提示した要求水準書に示す項目・内容に大幅な乖離は見られず、概ね、妥当であると判断する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 【対象作業】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 必要な作業項目・内容を業務要求水準書に追記 ➢ 予防保全や事業者の採算性を考慮し、対象作業を増やす ● 【要求水準】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事業者のノウハウが発揮しづらい作業は除く ● 【発注方法】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 市が意図する要求水準が伝わるよう、業務要求水準書を見直す ● 【発注方法】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 技術点と価格点を評価する発注方法とする ● 【契約内容】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 必要な条件や想定されるリスクを契約書に追記 ● 【契約期間】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事業者自ら検討・検証を実施、改善を図り、性能発注の特性を発揮できるよう、契約期間を拡大 ● 【事業全体の枠組み】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事業者の自由度を高めて性能発注の特性を活かすため、業務内容の拡大や見直しを実施 ● 【広報等】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 包括管理事業を、もっと市民に知ってもらう取組みの実施を検討 																																								
	作業量	定型的な業務（日常の清掃等）は、作業量は概ね妥当であるが、災害対応等の非定型的な業務については、改善する必要がある。																																									
2. 契約内容・事業スキームの妥当性	関係者ヒアリング結果: 契約内容・役割分担	事業に支障をきたす大きな問題はないが、事業実施期間中の構成員の変更や提案書の取扱い等、改善したほうがよいと判断される懸念事項がある。	<ul style="list-style-type: none"> ● 【対象作業】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 必要な作業項目・内容を業務要求水準書に追記 ➢ 予防保全や事業者の採算性を考慮し、対象作業を増やす ● 【要求水準】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事業者のノウハウが発揮しづらい作業は除く ● 【発注方法】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 市が意図する要求水準が伝わるよう、業務要求水準書を見直す ● 【発注方法】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 技術点と価格点を評価する発注方法とする ● 【契約内容】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 必要な条件や想定されるリスクを契約書に追記 ● 【契約期間】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事業者自ら検討・検証を実施、改善を図り、性能発注の特性を発揮できるよう、契約期間を拡大 ● 【事業全体の枠組み】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事業者の自由度を高めて性能発注の特性を活かすため、業務内容の拡大や見直しを実施 ● 【広報等】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 包括管理事業を、もっと市民に知ってもらう取組みの実施を検討 																																								
3. コスト削減効果	H24 の維持管理費、包括管理事業額	【(H24 維持管理費) - (包括管理事業額) / (H24 維持管理費) = 約 6.4%】「府中市インフラマネジメント計画」では約 10%程度と想定。																																									
4. 利用者の評価	地域住民ヒアリング	地域住民の評価は、概ね好評であり、包括管理事業の実施は肯定されたと判断できる。・現行包括管理事業の活動：約 6 割が美化を実感・包括管理事業への評価：半数が肯定。事業拡大の意見もあり																																									
評価の視点	評価内容	評価		改善点・改善方針																																							
1. 業務実施内容の妥当性	作業項目	事業者が実施した作業項目と、予め市が提示した要求水準書に示す項目・内容に大幅な乖離は見られず、概ね、妥当であると判断する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 【対象作業】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 必要な作業項目・内容を業務要求水準書に追記 ➢ 予防保全や事業者の採算性を考慮し、対象作業を増やす ● 【要求水準】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事業者のノウハウが発揮しづらい作業は除く ● 【発注方法】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 市が意図する要求水準が伝わるよう、業務要求水準書を見直す ● 【発注方法】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 技術点と価格点を評価する発注方法とする ● 【契約内容】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 必要な条件や想定されるリスクを契約書に追記 ● 【契約期間】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事業者自ら検討・検証を実施、改善を図り、性能発注の特性を発揮できるよう、契約期間を拡大 ● 【事業全体の枠組み】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事業者の自由度を高めて性能発注の特性を活かすため、業務内容の拡大や見直しを実施 ● 【広報等】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 包括管理事業を、もっと市民に知ってもらう取組みの実施を検討 																																								
	作業量	定型的な業務（日常の清掃等）は、作業量は概ね妥当であるが、災害対応等の非定型的な業務については、改善する必要がある。																																									
2. 契約内容・事業スキームの妥当性	関係者ヒアリング結果: 契約内容・役割分担	事業に支障をきたす大きな問題はないが、事業実施期間中の構成員の変更や提案書の取扱い等、改善したほうがよいと判断される懸念事項がある。	<ul style="list-style-type: none"> ● 【対象作業】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 必要な作業項目・内容を業務要求水準書に追記 ➢ 予防保全や事業者の採算性を考慮し、対象作業を増やす ● 【要求水準】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事業者のノウハウが発揮しづらい作業は除く ● 【発注方法】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 市が意図する要求水準が伝わるよう、業務要求水準書を見直す ● 【発注方法】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 技術点と価格点を評価する発注方法とする ● 【契約内容】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 必要な条件や想定されるリスクを契約書に追記 ● 【契約期間】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事業者自ら検討・検証を実施、改善を図り、性能発注の特性を発揮できるよう、契約期間を拡大 ● 【事業全体の枠組み】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事業者の自由度を高めて性能発注の特性を活かすため、業務内容の拡大や見直しを実施 ● 【広報等】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 包括管理事業を、もっと市民に知ってもらう取組みの実施を検討 																																								
3. コスト削減効果	H24 の維持管理費、包括管理事業額	【(H24 維持管理費) - (包括管理事業額) / (H24 維持管理費) = 約 7.4%】「府中市インフラマネジメント計画」では約 10%程度と想定。																																									
4. 利用者の評価	地域住民ヒアリング	地域住民の評価は、概ね好評であり、包括管理事業の実施は肯定されたと判断できる。・現行包括管理事業の活動：約 6 割が美化を実感・包括管理事業への評価：半数が肯定。事業拡大の意見もあり																																									

No.	頁	該当箇所 (誤)	該当箇所 (正)																																		
4	134P	<p>表 3-49 財政削減効果の試算条件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>条件</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業期間</td> <td>5年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業量</td> <td>府中市及び近隣7市</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持管理費削減率</td> <td>既存の人件費、委託費等が10%削減される場合を想定し、試算する</td> <td>現行包括管理事業でのコスト削減効果は概ね7.7%となっており、発注規模が大きいことからスケールメリットが得られ、よりコスト削減につながると想定し、ここでの削減率は10%と設定した。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他の費用</td> <td>統括マネジメント費用：人件費8名分と仮定</td> <td>包括管理事業の多数の業務、拡大したエリアを統括的にマネジメントするための人員が各市1名必要と設定した。</td> </tr> <tr> <td>市職員が確認等を実施するための費用：人件費の1割と仮定</td> <td>モニタリングを実施するための費用として、人件費の1割と設定した。</td> </tr> </tbody> </table>	項目	条件	備考	事業期間	5年		事業量	府中市及び近隣7市		維持管理費削減率	既存の人件費、委託費等が10%削減される場合を想定し、試算する	現行包括管理事業でのコスト削減効果は概ね7.7%となっており、発注規模が大きいことからスケールメリットが得られ、よりコスト削減につながると想定し、ここでの削減率は10%と設定した。	その他の費用	統括マネジメント費用：人件費8名分と仮定	包括管理事業の多数の業務、拡大したエリアを統括的にマネジメントするための人員が各市1名必要と設定した。	市職員が確認等を実施するための費用：人件費の1割と仮定	モニタリングを実施するための費用として、人件費の1割と設定した。	<p>表 3-49 財政削減効果の試算条件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>条件</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業期間</td> <td>5年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業量</td> <td>府中市及び近隣7市</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持管理費削減率</td> <td>既存の人件費、委託費等が10%削減される場合を想定し、試算する</td> <td>現行包括管理事業でのコスト削減効果は概ね7.4%となっており、発注規模が大きいことからスケールメリットが得られ、よりコスト削減につながると想定し、ここでの削減率は10%と設定した。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他の費用</td> <td>統括マネジメント費用：人件費8名分と仮定</td> <td>包括管理事業の多数の業務、拡大したエリアを統括的にマネジメントするための人員が各市1名必要と設定した。</td> </tr> <tr> <td>市職員が確認等を実施するための費用：人件費の1割と仮定</td> <td>モニタリングを実施するための費用として、人件費の1割と設定した。</td> </tr> </tbody> </table>	項目	条件	備考	事業期間	5年		事業量	府中市及び近隣7市		維持管理費削減率	既存の人件費、委託費等が10%削減される場合を想定し、試算する	現行包括管理事業でのコスト削減効果は概ね7.4%となっており、発注規模が大きいことからスケールメリットが得られ、よりコスト削減につながると想定し、ここでの削減率は10%と設定した。	その他の費用	統括マネジメント費用：人件費8名分と仮定	包括管理事業の多数の業務、拡大したエリアを統括的にマネジメントするための人員が各市1名必要と設定した。	市職員が確認等を実施するための費用：人件費の1割と仮定	モニタリングを実施するための費用として、人件費の1割と設定した。
項目	条件	備考																																			
事業期間	5年																																				
事業量	府中市及び近隣7市																																				
維持管理費削減率	既存の人件費、委託費等が10%削減される場合を想定し、試算する	現行包括管理事業でのコスト削減効果は概ね7.7%となっており、発注規模が大きいことからスケールメリットが得られ、よりコスト削減につながると想定し、ここでの削減率は10%と設定した。																																			
その他の費用	統括マネジメント費用：人件費8名分と仮定	包括管理事業の多数の業務、拡大したエリアを統括的にマネジメントするための人員が各市1名必要と設定した。																																			
	市職員が確認等を実施するための費用：人件費の1割と仮定	モニタリングを実施するための費用として、人件費の1割と設定した。																																			
項目	条件	備考																																			
事業期間	5年																																				
事業量	府中市及び近隣7市																																				
維持管理費削減率	既存の人件費、委託費等が10%削減される場合を想定し、試算する	現行包括管理事業でのコスト削減効果は概ね7.4%となっており、発注規模が大きいことからスケールメリットが得られ、よりコスト削減につながると想定し、ここでの削減率は10%と設定した。																																			
その他の費用	統括マネジメント費用：人件費8名分と仮定	包括管理事業の多数の業務、拡大したエリアを統括的にマネジメントするための人員が各市1名必要と設定した。																																			
	市職員が確認等を実施するための費用：人件費の1割と仮定	モニタリングを実施するための費用として、人件費の1割と設定した。																																			
5	155P	<p>3.3.4. 財政削減効果の確認</p> <p>ここでは、将来包括管理事業の財政削減効果について、現行包括管理事業の実績等を踏まえて確認した。なお、将来包括管理事業の内容は、「対象範囲を市全域」、「対象作業等を拡大」など、これまでの検討結果を反映したものである。</p> <p>財政削減の考え方は、次の図 3-50 のとおりとする。具体的には、包括管理事業を導入しない場合（従来どおり）の管理費用は、「市職員が実施する作業費（以下、「市作業相当費」という）」と「外部に委託して実施する作業費（以下、「委託相当費」という）」のあわせた額（以下、「財政削減の基準費用」という）とする。その財政削減の基準費用を試算し、将来包括管理事業を導入した場合にどの程度削減されるかの見込み額を試算した。なお、「収益事業からの収益還元」や「事業者選定などに要するアドバイザー業務」などの費用については、常時の発生可能性が不確定であるため、試算から除外している。</p> <p>また、財政削減効果を算出するためには、財政削減の基準費用の設定が必要である。現行包括管理委託のコスト削減効果が約7.7%であることから、事業範囲拡大によるスケールメリットを考慮し、5%、10%、15%の3つの場合で試算を行う。</p>	<p>3.3.4. 財政削減効果の確認</p> <p>ここでは、将来包括管理事業の財政削減効果について、現行包括管理事業の実績等を踏まえて確認した。なお、将来包括管理事業の内容は、「対象範囲を市全域」、「対象作業等を拡大」など、これまでの検討結果を反映したものである。</p> <p>財政削減の考え方は、次の図 3-50 のとおりとする。具体的には、包括管理事業を導入しない場合（従来どおり）の管理費用は、「市職員が実施する作業費（以下、「市作業相当費」という）」と「外部に委託して実施する作業費（以下、「委託相当費」という）」のあわせた額（以下、「財政削減の基準費用」という）とする。その財政削減の基準費用を試算し、将来包括管理事業を導入した場合にどの程度削減されるかの見込み額を試算した。なお、「収益事業からの収益還元」や「事業者選定などに要するアドバイザー業務」などの費用については、常時の発生可能性が不確定であるため、試算から除外している。</p> <p>また、財政削減効果を算出するためには、財政削減の基準費用の設定が必要である。現行包括管理委託のコスト削減効果が約7.4%であることから、事業範囲拡大によるスケールメリットを考慮し、5%、10%、15%の3つの場合で試算を行う。</p>																																		